

議案質疑

開会日に提出された議案に対する質疑は、12月7日に行われ、6人の議員が質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

議案第133号

問 工事請負契約の一部変更について

【榎戸甲子夫議員】

仮設道路拡張工事、汚泥処分量増により今回950万円追加しているが、当初見積もりから漏れて、つまり業者の見積もりミスではないか。

【上下水道部長】

当初、機器の搬入等に使用する車種等が特定できなかった。また、水槽断面修復工事は汚泥を引き抜いた後でないとして正確に判断できなかった。国の交付金事業で、県の助言をいただし、不確定なものは数量等が確定した後、契約変更で手続を進めることとした。

【榎戸甲子夫議員】

当初金額は誰が計算したのか。

【上下水道部長】

茨城県土地改良事業団体連合会が設計、工事額を算出した。

【榎戸甲子夫議員】

仮設工事にしても現場を見てのことか。当初契約金額の1億5,800万円と追加の950万円の詳細な見積書がなければ承服できない。

【上下水道部長】

1億5,800万円の当初設計書、今回の950万円の追加設計書も当然作成しており、額は適正と考えている。

議案第140号

問 道の駅循環バス運行委託の内容は

【三浦議議員】

道の駅循環バス運行委託の内

容は。

【企画部長】

来年度開業予定の道の駅と下館駅をつなぐ近距離の市内循環バスを想定し、来年7月からの運行を予定。

【三浦議議員】

下館駅と道の駅往復のみか。地域内運行バスにはないルートも一緒に走るのか。

【企画部長】

地域公共交通会議に意見を求めていくが、便数を増やすとともに学校やスパー等も巡回し、使い勝手をよくしたい。

【三浦議議員】

バスの型式、大きさは。

【企画部長】

マイク口型、大型とも決まっていはいない。委託事業者が決定してから、より安価で提供できる型にしたい。

【三浦議議員】

観光客の利便性にも資するような、観光地めぐりを盛り込む考えは。

【企画部長】

近距離運行のため観光地を回るの難しい。

議案第140号

問 法人の業績把握の方法は

【鈴木聡議員】

過誤納還付の補正は、法人の業績悪化によるものとのことだが、その状況の把握は。

【税務部長】

企業の業績については事業者ごとに異なり、全体的な予測は非常に難しい。

【鈴木聡議員】

補正額827万円の内訳は。

【税務部長】

過去5年間の12月以降の平均額を計上している。

【鈴木聡議員】

企業の業績悪化の分類、分析はどうなっているのか。

【税務部長】

法人が前事業年度の法人市民税の2分の1を納付する中間納付をした場合、事業年度終了後の確定申告額が中間納付額より少ない場合、還付が発生する。法人市民税のほか、固定資産税、個人住民税等を

含めて補正額を計上している。

【鈴木聡議員】

実際の過誤納還付の企業数は。

【税務部長】

今年度はこれまでに、125社で約4,000万円の還付をしている。

議案第134号

問 あけの元気館の指定管理について

【小島信一議員】

以前、浴場の修繕をあけの元気館の窓口で相談したところ、検討すると言われたが修繕されていない。新しい指定管理者から施設の修繕提案はあるのか。

【保健福祉部長】

指定管理料の中に大規模修繕とそのほかの小規模修繕費用を見込んでいる。今後の修繕については、新たな指定管理者と調整していく。

【小島信一議員】

利用者を増やすためには、施設の修繕やマナーの悪い利用者への注視指導等の取り組み

は欠かせない。また、利用料金の700円は妥当であるが、

会員になると非常に安くなる。

安いことは利用者にとって良い事であるが、受益者負担の

考えや施設を維持するための

財政的見地から、会員料金の

見直しを新しい指定管理者と

協議してはどうか。

【保健福祉部長】

利用料金は条例で上限を定めており、指定管理者との協定

で決定するが、健康増進施設

としての役割を考えると今の

ままで良いという意見もある。

今後の検討課題としたい。

議案第140号

問 歳入歳出予算と財政計画の整合性

【森正雄議員】

平成30年3月の議会で、新市建設計画変更に伴い、財政計画が修正され、本年度予算は、436億400万円であったが、今回の補正後の金額が464億4,209万3,000円となる。約30億円増

えているが、その理由は。

【企画部長】

道の駅整備事業の増額、西部

医療機構運営支援事業、県西

総合病院清算事業が主な要因

である。

【森正雄議員】

当初予算から財政調整基金の

繰り入れを予定しての予算組

みとなっている。財政計画の

歳入・歳出の見通しが甘いのではないか。

【企画部長】

ここ数年の財政規模を見ると、

10億円前後の財政調整基金の

繰り入れを当初予算から見込

んでおり、財政計画において、

徐々に繰り入れを減らしてい

く計画になっている。歳入に

見合った構造改革を図り、財

政規模を抑えていく。

議案第136号

問 指定管理の応募が1社だった理由は

【小倉ひと美議員】

市立図書館指定管理者の応募は、現在の事業者の1社だけ

だった。その理由は。

【教育部長】

今回の指定管理の応募は、新

規ではなく更新であったため

新規の参入が難しい環境に

なっていたと認識している。

【小倉ひと美議員】

選考はどう行ったのか。

【教育部長】

1次審査・2次審査を審査員

のメンバーを変えて行った。

結果は100点満点で換算す

ると、67.9点であり、仕様

書に示した要求を十分に満た

しているかと判断をした。

【小倉ひと美議員】

1社の応募で、公募型プロポー

ザルは成功したと判断できる

のか。競争性は保たれたのか。

【教育部長】

一般的な入札と違い、金額だ

けではなく提案内容が審査対

象である。競争性ということ

には直接結びつかないが、現

状よりもサービスが向上する

と考えている。

